

令和 6 年度 都留市文化財審議会
(第 1 回会議)
資料 1

「都留市内文化財の現況調査の結果について」

都留市内文化財の現況調査の結果について

- 令和8年度の「文化財保存活用地域計画」策定を目指し、その足掛かりとして市内の文化財の現状を把握し、その概要・特徴を捉え、文化財リストの作成を行う必要がある。
- そのため、都留市教育委員会では都留市内の文化財の保存状態や管理体制について改めて情報収集を図ることを目的とし、アンケート調査を実施した。
- 今後は毎年1回のアンケート調査を実施し、継続的に情報収集を図り、文化財所有者/管理者に対する意識付けを行っていく予定である。

◆調査の方法

- アンケート送付先：都留市内文化財の所有者/管理者
- 回答期間：令和6年5月14日（火）送付、6月14日（金）締切

□ 市内文化財一覧（都留市が管理しているもの以外）

・ 天然記念物

指定区分	文化財名称	所有者/管理者
市 天	阿夫利神社の彼岸桜	阿夫利神社
県 天	上大幡のナシ	個人
市 天	上大幡の八房の梅	個人
市 天	稲村神社のエノキ	稲村神社
市 天	熊野神社の大杉	熊野神社
市 天	桂林寺の彼岸桜	個人
市 天	今宮神社のケヤキ	今宮神社
市 天	栃苗代のヤマツツジ	個人
県 天	真福寺の大カヤ	真福寺
市 天	菅野のカツラの木	菅野自治会
市 天	上夏狩のヤブツバキ	個人
市 天	八王子神社のイチヨウ	八王子神社

・ 史跡

指定区分	文化財名称	所有者/管理者
市 史	秋元氏家臣の墓	円通院
市 史	早作の石仏群	鹿留財産区（財務課管財担当）
市 史	森島其進の墓	専念寺
市 史	高山家の墓	東漸寺
市 史	雨宮六園の墓	普門寺

都留市内文化財の現況調査の結果について

有形文化財

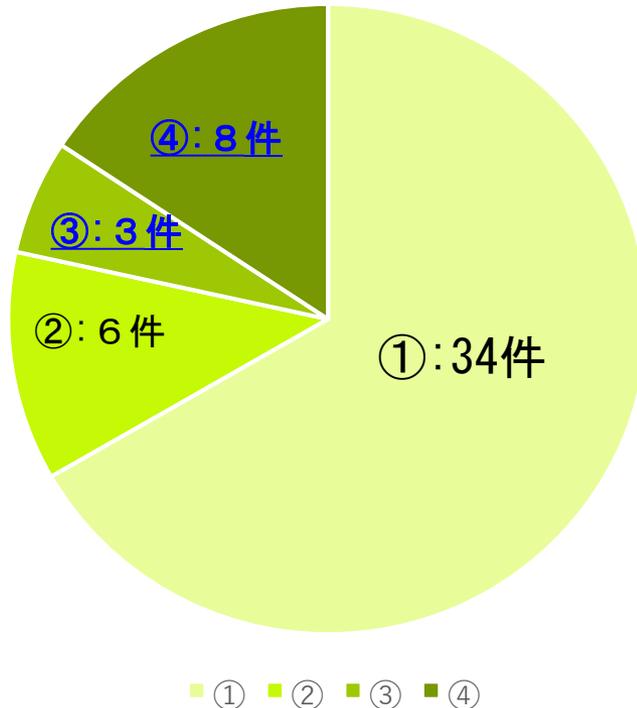
指定区分	文化財名称	所有者/管理者
国 有	旧明治医院	個人
市 有	元坂の石橋	円通院
市 有	円通院の梵鐘	
市 有	円通院の涅槃図	
市 有	円通院の山門と二天王像	
市 有	太宰府天神社社殿	境自治会
市 有	金山神社の神輿	金山神社
市 有	小山田家伝世の板碑	桂林寺
市 有	地藏菩薩坐像	広教寺
市 有	広教寺の大般若経	
市 有	広教寺文書	上夏狩自治会
市 有	十二天社本殿	
市 有	真福寺の板碑	真福寺
市 有	生出神社本殿	生出神社
市 有	生出神社神楽堂	
市 有	石船神社の復顔首級	石船神社
市 有	諏訪神社本殿	川茂自治会
国 有	村松新聞店（旧都留市役所分庁舎）	村松新聞店
市 有	長安寺の茶壺	長安寺
県 有	長安寺本堂	長安寺
市 有	小山田信茂寺領書立文書	長生寺
市 有	長生寺の中雀門	
市 有	長生寺の涅槃図	
県 有	紙本金地著色竜虎梅竹図六曲屏風	長生寺
県 有	絹本著色釈迦三尊十六善神像	
県 有	絹本著色小山田出羽守信有（契山存心）像	長泉院
市 有	永平道元禅師行状図	
市 有	伝昌寺の板碑	本光寺
国 有	駒橋発電所落合水路橋	東京電力リニューアブルパワー株式会社業務統括室 総務・法務グループ
市 有	万年内家業一件帳	個人
市 有	宝鏡寺の庫裏	宝鏡寺
市 有	甲州騒動の竹槍	用津院

都留市内文化財の現況調査の結果について

◆アンケート内容

- ① 文化財の保存・管理状態は良好であり、文化財の状態も良好である。
- ② 文化財の保存・管理状態は良好であるが、文化財に欠損等が発生している。
- ③ 文化財の保存・管理状態に問題があるが、文化財の状態は良好である。
- ④ 文化財の保存・管理状態に問題があり、文化財の欠損等が発生している。

アンケート集計結果



□ アンケート結果及び所感

- アンケート結果（51件）のうち、①（保存・管理状態及び文化財の状態が良好）は34件、②（保存・管理状態は良好だが文化財の欠損等が発生）③（保存・管理状態に問題があるが、文化財の状態は良好）は3件、④（保存・管理状態に問題があり、文化財の欠損等が発生）は8件となった。
- ③については、所有個人・団体への適切な情報提供や継続的な市の指導が必要である。
- ④については、適切な指導とあわせて、現状把握を行い、所有個人・団体の経済的な状況も考慮しながら、（将来的に）市の補助金を活用するか如何を検討していく必要がある。
- なお、（次ページ以降に詳細を記載）文化財指定から30年近くが経過し、所有者の入れ替わりや所有団体の縮小も要因として、「市の指定文化財は市が管理するもの」という意識や、補助金頼みの管理状況になっている。地域コミュニティの弱体化や文化財への理解不足が見られるため、文化財の意識醸成や市の指導など、中長期的な対策とあわせて、短期的な対策（財政支援等）も必要になりつつある。
- 中長期的な市の方向性については、文化財保存活用地域計画の策定等、全体的な計画策定を行い、その計画に基づいて一体的に事業展開を図るなど、この先の文化財保護や活用について、ブレのない考え方をまとめ、実現していくことが重要である。

・ 太宰府天神社社殿（境自治会）

6年前より、社殿の彫物に一部欠損が見られる。→現状、修復予定無し。

また、お賽銭箱が老朽化し、氏子と相談の上修復。

毎年、神社周辺の倒木が発生し、近隣の住居に影響を及ぼす可能性あり。→都留重機に依頼し倒木の撤去を行った。

神社周辺の樹木を切りたいが、神社庁により周辺の景観保護のため許可が下りない。周辺の神社の管理者も困ってるから何とかして。根本から切ると土砂崩れが想定されるため、せめて根本を1/3程度残して伐採したい。

→所有者・神社庁間で協議が必要ではないか。

・ 金山神社の神輿（金山神社）

神輿庫について現在雨漏りが発生。山梨県民信用組合より借財・着工。神輿保護のため、補助金を希望している。

→神輿庫自体は文化財指定でないため補助の交付対象外。

・ 十二天社本殿（上夏狩自治会）

本殿の屋根の痛みが激しく雨漏りをしており、壁も破損している箇所がある。大きな地震などによる倒壊が心配。→倒れそうになっている境内の手洗場と大木の修理を優先的に考えているため、本殿の修理予定や方法に関しては現在考えられていない。

屋根や外壁の補修を考えなくてはならないが、申請方法の手続きが分かりにくい。

→今後の補修を考慮し、補助金の申請方法など情報提供を積極的に行う。

・ 諏訪神社本殿（川茂自治会）

本殿周囲の木が大きくなり、風水害による倒木の恐れがある。→枝の伐採が問題視されている。

→所有者・神社庁間で協議が必要ではないか。

・ 駒橋発電所落合水路橋（東京電力ホールディングス株式会社）

漏水している。冬になると漏水により下の道路が凍結したりつららができたりするため地元住民から苦情が寄せられる。

2023年度に止水対策（モルタル補修）を実施したが、構造上発生源を特定できない。→現在、つららの除去・融雪剤の散布等行っている。

雨樋や凍結防止器具（融雪マット等）を設置する場合、申請が必要か。また、修理に補助金が出るのか。

→県（国）へ相談を行う。

・ 稲村神社のエノキ（稲村神社）【現地確認実施・後述】

一部の枝が伸びており、折れた場合樹木下の水屋の屋根が損傷を受ける可能性あり。幹の先端部分が枯れ、折れた場合危険。根本部分にろうがあるため、木の質量に耐えうるか調査希望。→現在、枯れ枝を剪定し対策を実施。

市役所内の何課が対策を実施するのか、初めてのためよくわからない。

→市から情報提供の上、所有者によって調査などを行う。

・ 桂林寺の彼岸桜（桂林寺）【現地確認実施・後述】

彼岸桜は600年以上が経過しており、幹が空洞化し皮のみで生きている。太い枝は今後強風に耐えられないと思われるので、補助金を活用し支柱で保護したい。→現在修理を行っておらず、補助金が無ければ今後も修理の予定無し。

→市から情報提供の上、補助事業に向けて準備を進めるなど検討。

・ 今宮神社のケヤキ（今宮神社）【現地確認実施・後述】

ケヤキ自体に問題は無いが、根が成長し石垣を圧迫している。→財源に問題であり、予防措置を施すことが不可能な状態である。

→現地確認。課題有。

・ 菅野のカツラの木（菅野自治会）【現地確認実施・後述】

ゴミ又は不法投棄が多いため、現在市に防犯カメラの設置及びカメラ設備の看板をお願いしている。

→所管課に確認したが「防犯カメラ設置費補助金」への申請はない。自治会に改めて確認。なお、防犯カメラは犯罪の抑止を目的にしているため、樹木単独では難しいのではないかと（所管課意見）。

・ 上夏狩のヤブツバキ（個人）【現地確認実施・後述】

10年前から樹木が腐り始めたため、2015年頃から樹木医による手当を3年間行ったが、全体が枯れてしまった。→2018年に根本から1mの箇所を樹木医により伐採した。

→伐採後の樹勢を確認し、状況次第では天然記念物の対象外とするか協議を必要とする。

なお、平成30年度調査において、所有者より「半分が枯死の状態になっていても指定は継続されるか」という質問へは、市から「完全に枯死しない限り指定解除はない」と回答。

・ 万年内家業一件帳（個人）

現在茶箱2個に入れて保管。高齢かつ後継者がいないことを考慮し、文書一式を寄贈希望。

→所有者と調整の上、ミュージアム都留への寄贈処理に向けて準備を行う。

・ 真福寺の板碑（真福寺）

板碑の由来や指定の経緯等不明な点があるので、この機会に明らかにしたい。

→緊急性がないため、今後検討。

・ 元坂の石橋・円通院の梵鐘・円通院の涅槃図・円通院の山門と二天王像・秋元氏家臣の墓（円通院）

火災により2階部分消失、修復を進めているが市との連絡が取れていない。補助金の申請が進んでいない。このままでは修理が終わってしまい、補助金を受け取ることができない。

→調査後の所有者へのヒアリング結果

- ・ 火災保険料の清算は見込みとして8割程度賄える予定である。
- ・ 瑕疵原因の事業者に損害賠償請求はしないのかとの内容には、当該事業者が円通院の檀家であり、付き合いもあるため、請求しなかったとのこと。
- ・ 檀家への寄付依頼などもしていないが、護持会の積み立てから充当する見込みがある。
- ・ 市が責任をもって文化財をみってくれるのでは、という認識がある。（後者については認識誤りを指摘）
- ・ 状況確認として、今後も月に1度程度ヒアリングや現地確認を行っていく。

・ 真福寺の大カヤ（真福寺）【現地確認実施・後述】

文化財説明板が古くなり読みにくくなっているため、新設を希望。

→説明版は県が設置したものであるため、県と協議し調整か。また、令和5年度に県・市補助事業にて枝剪定・ブレーシングを行い、樹木の保護を実施している。樹木の生育状況を考慮しながら継続的な保護対策が必要となる見込み。【R5年度補助事業】

・ 八王子神社のイチョウ（八王子神社）【現地確認実施・後述】

先日の台風により枝（大人の胴体程の大きさ）が近隣の畑に落下した。折れた根本が大きく開いており、今後雨の浸透により二次被害が発生する恐れあり。→現在、折れた枝は市の援助により業者に依頼、撤去済み。

→平成30年に樹木医による現地調査を行い、防腐処理や詳細のアドバイスをもらうための補助を提案しているが所有者より「すぐさま枝が落ちる心配はない」と判断があり、事業実施には至らず、その後の対策もなかったことが枝折れの要因の一つと考えられる。また、所有者を含め地元の対象者については、「市の指定文化財＝市が管理しているもの」という認識が強い様子があった。地元団体の文化財保護への理解や、それを維持する経済的な課題等が浮き彫りとなった。【R5年度補助事業】

・ 阿夫利神社の彼岸桜（阿夫利神社）【現地確認実施・後述】

大雪で枝が折れ、片付け後市に報告済。→折れた箇所はそのままの状態であり、処理が適切かは判断できない。氏子側では費用が発生しない範囲までしか対応できない。

予算確保が来年以降になるのでは防腐処理が意味ないのでは。市で修繕費を全額見てもらえないか。

→当初、枝折れ後の樹木伐採についても補助金の相談があった。防腐処理についても市への補助金頼みになっている傾向があり、氏子で経費を集めて対策を主体的に行うなど、文化財保護への考え方が十全でない課題がある。

都留市内文化財の現況調査の結果について／現地調査

- 現在、県指定天然記念物として2件、市指定天然記念物として10件が登録されている。アンケート結果によると、そのうち多数に課題が発生している様子。ついては、天然記念物の現状を把握するため実際に現地へ伺い、その様相を調査した。
- 市内所在の天然記念物一覧とその所見は以下の通り。

名称	所在地	所有者/管理者	調査日時	所見
真福寺の大カヤ	小野627	真福寺	7/18 16:00	R5年度山梨県文化財保存事業において、ロープによる樹幹の引き締め、枝剪定を行い、現状維持。
上大幡のナシ	大幡4229	個人	7/18 13:30	所有者へのヒアリングを実施。樹勢等影響なし。
阿夫利神社の彼岸桜	玉川570	阿夫利神社	7/18 16:20	R5の枝折れ箇所は防腐処理ができていない。 アンケート調査における所有者の文化財への認識が課題。
上大幡の八房の梅	大幡4229	個人	7/18 13:40	所有者へのヒアリングを実施。樹勢等影響なし。
桂林寺の彼岸桜	金井397	桂林寺	7/18 14:00	樹幹中央が空洞上になっており、樹皮が落下している状態。 今後所有者とのヒアリングなどを行い、補助の検討などが必要。
菅野のカツラの木	大野地内	菅野自治会	7/18 15:50	R5日本樹木医会山梨支部による現地調査実施。樹木に問題なし。
熊野神社の大杉	鹿留2346-9	熊野神社	7/18 14:45	神社入り口に電気柵が設置され中に入ることができない。(アンケート調査では問題なし)
稲村神社のエノキ	小形山1565	稲村神社	7/10 13:30	樹木の周囲に囲いをして保全している。幹の先端部分が折れているがそのままの状態。
今宮神社のケヤキ	鹿留2590	今宮神社	7/18 14:50	成長により根が神社石垣を押し出している。
八王子神社のイチョウ	古川渡891	八王子神社	7/18 16:35	R5の枝折れ箇所の防腐処理などは実施できていない。
上夏狩のヤブツバキ	夏狩1792	個人	7/18 14:30	所有者へのヒアリング実施。 伐採後、一時は新芽等が確認できたが再び枯れている。枯れ死の状態かは判断できない(目視では枯れている様子)。
栃苗代のヤマツツジ	大野2116	個人	7/18 15:30	現地にて所有者にヒアリング。周辺のメタセコイヤの繁茂により、日当たりが悪いため、昔ほど樹木の勢いが無い。

真福寺の大カヤ



R5年度山梨県文化財保存事業において、ロープによる樹幹の引き締め、枝剪定を行い、現状維持。

上大幡のナシ



所有者へのヒアリングを実施。樹勢等影響なし。

阿夫利神社の彼岸桜



R5の枝折れ箇所は防腐処理ができていない。アンケート調査における所有者の文化財への認識が課題。

上大幡の八房の梅



所有者へのヒアリングを実施。樹勢等影響なし。

桂林寺の彼岸桜



樹幹中央が空洞
上になっており、
樹皮が落下して
いる状態。今後
所有者とのヒア
リングなどを行
い、補助の検討
などが必要。

菅野のカツラの木



R5日本樹木医会
山梨支部による
現地調査実施。
樹木に問題な
し。

熊野神社の大杉

目視確認できず



神社入り口に電
気柵が設置され
中に入ることが
できない。

今宮神社のケヤキ



成長により根が神社石垣を押し出している。

八王子神社のイチヨウ



R5の枝折れ箇所の防腐処理などは実施できていない。

上夏狩のヤブツバキ



R5の枝折れ箇所の防腐処理などは実施できていない。所有者へのヒアリング実施。伐採後、一時は新芽等が確認できたが再び枯れている。枯れ死の状態かは判断できない。

栃苗代のヤマツツジ



目視確認できず

現地にて所有者にヒアリング。周辺のメタセコイヤの繁茂により、日当たりが悪いため、昔ほど樹木の勢いが無い。